

人口ビジョンの見直し

(1) 稲美町の人口等の現状

①人口等の推移について

- ・総人口は平成 12 年（2000 年）以降は減少傾向、特に年少人口・生産年齢人口が減少し、少子高齢化が進行
- ・地域別では天満地域の市街化区域では人口増加がみられるが、市街化調整区域では減少
- ・世帯数は昭和 40 年（1965 年）以降増加傾向、特に、夫婦のみ世帯や単独世帯、ひとり親世帯が増加しているが、東播磨地域内では三世代家族の割合が高い
- ・子ども女性比等が高く、転入世帯は子どもを持つ世帯が多いとみられる
- ・転出超過は 15～29 歳の若い世代が多く、大学進学や就職で町外に転出しているものと推測される
- ・社会動態は、平成 27 年（2015 年）以降は転入数と転出数がほぼ同程度となっており、社会増減は均衡
- ・自然動態では、平成 16 年（2004 年）以降「自然減」が続き、直近 5 年間平均では、毎年 150 人程度の自然減少

②産業等について

- ・就業者の業種は、男性では「製造業」が圧倒的に多いが、町内の製造業事業所数は少ない
- ・業種別就業者の平均年齢は、「農業、林業」で 60 歳を超える

③アンケートからの住民ニーズ

- ・理想的な子どもの数に対して現実的に持てる子どもの数との乖離がみられ、子どもを持たない理由は、費用面や仕事と育児との両立への不安が大きい
- ・人口減少の抑制策としては、妊娠・出産や子育て支援を含む福祉面の充実、雇用の確保への要望が高い
- ・若い世代が居住環境として望む点では通勤・通学への利便性が最も高い
- ・今後の居留意向では、若い世代の 4 割以上が稲美町での居留意向となっている
- ・事業所が行政機関や支援機関に望む支援策は、経済的な支援、販売促進や PR などを含めた情報発信が多い

(2) 人口減少による影響

労働力不足	➡	雇用の量や質の低下、産業や雇用面の縮小による雇用の場の減少
地域の担い手不足	➡	コミュニティの希薄化、地域の防犯力・防災力の機能低下
交流人口の減少	➡	地域内消費活動の低下を含めたまちの活動の停滞、活力の低下
空き家の増加	➡	防災・防犯上の問題の発生
高齢者人口の増加	➡	社会保障費等の増大、介助や介護をする側の人材不足
税収の減少	➡	良好な住民サービスの維持が困難となる

(3) 人口減少抑制対策

■自然増(出生数の増)対策■

子育て支援策の充実により、安心して結婚・出産・子育てできる環境を整え、出生率の向上を図ります

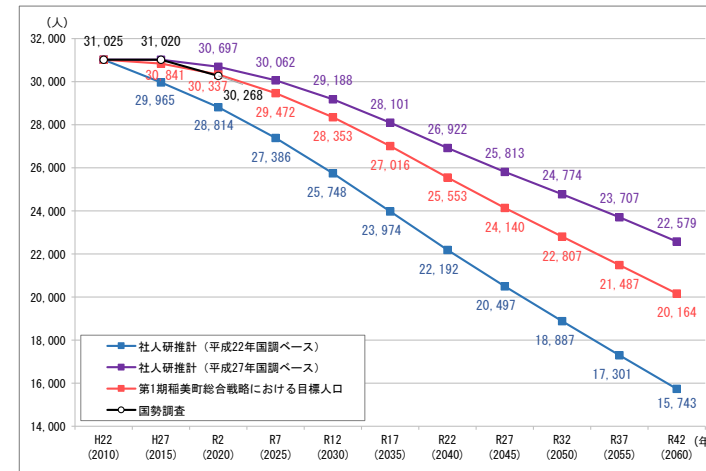
■社会増対策■

産業の振興を図ることにより、若い世代の定住とファミリー世帯の転入を促進し、U I J ターンを増やします

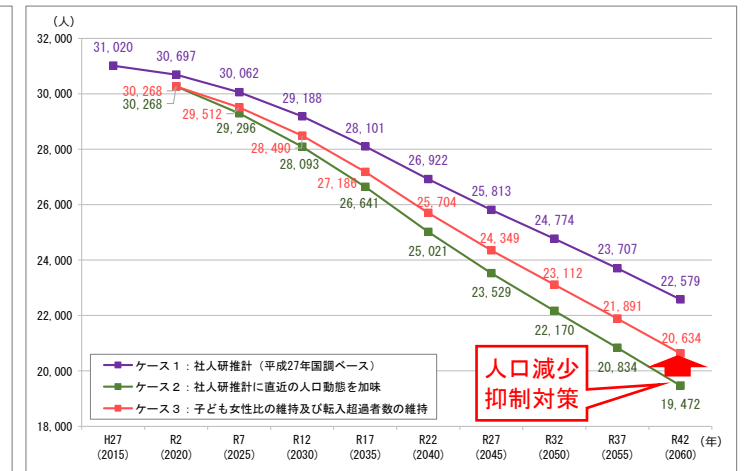
(4) 人口ビジョンの見直し

- ・稲美町の人口は「第 1 期稲美町総合戦略」における推計とほぼ同水準で推移

【第 1 期稲美町総合戦略における人口推計】



【人口ビジョンの見直し】



【人口ビジョン見直しのための仮定値の設定】

ケース 1	平成 27 年（2015 年）の国勢調査結果をベースに社人研が推計した数値。移動による仮定値を、平成 22 年(2010 年)と平成 27 年(2015 年)の国勢調査（実績）等に基づいて算出された移動率としています。当該期間が転入超過となっていたため、直近の傾向との乖離がみられます。
ケース 2	ケース 1 の推計を活用しつつ、令和 2 年（2020 年）の国勢調査（速報値）を利用することで現状との乖離を解消するとともに、移動による仮定値を平成 28 年(2016 年)～令和 2 年(2020 年)の住民基本台帳人口（実績）等に基づいて算出された直近の移動率が今後継続すると仮定しています。
ケース 3	ケース 2 の推計を活用しつつ、出生数を高める施策を実施することで、人口の自然増を図り、稲美町の特長でもある高い子ども女性比を維持して推移するものとして推計しています。また、移動による仮定値は、平成 28 年(2016 年)～令和 2 年(2020 年)の移動率を踏まえつつ、進学や就職でいったん町を離れても将来的に町に戻ってきたいと考える人の希望を実現させることにより、年間 32 人の転入増加を見込んで推計しています。

	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)
ケース 1：社人研推計	31,020	30,697	30,062	29,188	28,101	26,922	25,813	24,774	23,707	22,579
ケース 2：社人研推計に直近の人口動態を加味	31,020	30,268	29,296	28,093	26,641	25,021	23,529	22,170	20,834	19,472
ケース 3：子ども女性比の維持及び転入超過者数の維持	31,020	30,268	29,512	28,490	27,186	25,704	24,349	23,112	21,891	20,634

住民ニーズを踏まえた推計結果から、新たな長期的目標人口として、令和 42 年（2060 年）における稲美町の人口は、自然増（出生数の増）、及び社会増（人口の転入超過）対策などの人口減少抑制対策を実施することにより、約 2 万人の維持を目指す。

第1期 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略【期間延長版】の評価

「第2期稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における施策の展開に活かしていくため、「稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略【期間延長版】」で設定したKPIについて評価し、今後の方向性を整理しました。

基本目標1 稲美町における安定した雇用を創出する

KPI	目標値	最新値	達成率（目標値に対する最新値の進捗）
【数値目標】 稲美町に常住する就業者数	令和2年国勢調査 15,000人	平成27年国勢調査 14,364人	95.8%
(1) 希望や生きがいをかなえる働き方の創出			
●若者（25～39歳）の就業者数	令和2年国勢調査 4,400人	平成27年国勢調査 3,829人	87.0%
●15歳以上女性就業者数	令和2年国勢調査 6,200人	平成27年国勢調査 6,144人	99.1%
(2) 地域特性を活かした農業の振興			
●集落営農組織数	令和3年度 32組織	令和2年度 32組織	100.0%
●集落営農組織の法人化数	令和3年度 13組織	令和2年度 12組織	92.3%
●大規模6次産業拠点施設の配置	令和3年度 2箇所	令和2年度 2箇所	100.0%
●認定農業者数	令和3年度 30人+14団体	令和2年度 21人+16団体	84.1%
●稲美ブランドのロゴマークの商品への表示又は店頭表示	令和3年度 18品目	令和2年度 12品目	66.7%
(3) 活力のある商工業の振興			
●ふるさと納税寄付金協力企業	令和3年度 25事業所	令和2年度 24事業所	96.0%
●住宅リフォーム工事受注件数	令和3年度 51件以上	令和2年度 79件	100.0%
●年間商品販売額（小売業）	令和3年度経済センサス 227億円以上	平成28年度経済センサス 289億円	100.0%
●「兵庫県観光客動態調査」における稲美町の日帰り観光入込み客数	令和3年度 126千人以上	令和元年度 124千人	98.4%
●事業所数	令和元年度経済センサス 1,146事業所以上	令和元年度経済センサス 1,385事業所	100.0%

既存事業所について引き続き施策を充実させるとともに、新たな企業誘致の推進が必要です

基本目標2 稲美町へ新しい人の流れをつくる

KPI	目標値	最新値	達成率（目標値に対する最新値の進捗）
【数値目標】 転入超過者数	平成29～令和3年度 までの累計 計300人	平成29～令和2年度 までの累計 48人	16.0%
(1) 移住の推進			
●転入者数	令和3年度 959人以上	令和2年度 875人	91.2%
●転出者数	令和3年度 910人以下	令和2年度 956人	95.2%
●特別指定区域数（田園集落まちづくり）	令和3年度 11地区	令和2年度 9地区	81.8%
(2) ふるさと意識の醸成			
●『くらしの中で食育を意識している』と回答した方の割合	令和4年度 住民意向調査 80.0%	平成28年度 住民意向調査 56.8%	71.0%
●「住み続けたい」理由として『住んでいる所に愛着がある』と回答した方の割合	令和2年度 住民意向調査 55.0%	令和2年度 住民意向調査 54.5%	99.1%

ふるさと意識は醸成されていますが、転入促進のための施策充実と受け皿の整備が必要です

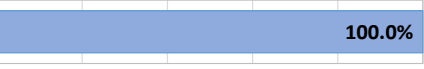
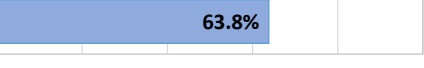

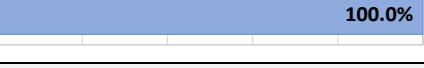
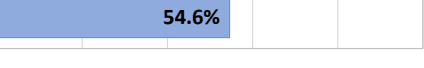
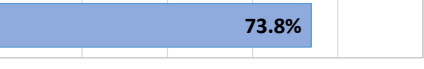

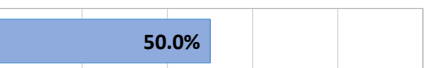
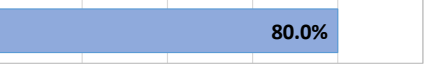
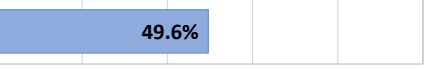
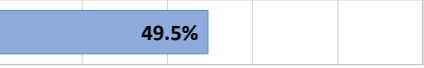
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

KPI	目標値	最新値	達成率（目標値に対する最新値の進捗）
【数値目標】 子どもと女性比	令和2年国勢調査 0.22	平成27年国勢調査 0.21	95.5%
(1) 安心して結婚ができる社会の実現			
●人口千人あたり5年間平均婚姻率	平成29～令和3年度 までの5年間の平均 4.50	平成24～令和2年度 までの4年間の平均 3.225	71.7%
(2) 安心して出産・子育てができる社会の実現			
●合計特殊出生率	令和2年国勢調査 1.41	平成27年国勢調査 1.36	96.5%
●『子どもの健全育成と少子化問題への取組』に「満足」「やや満足」と回答した方の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 30.0%	令和2年度 住民意向調査 19.0%	63.3%
●ファミリーサポートセンター提供会員数	令和3年度 30人	令和2年度 26人	86.7%

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえられるよう、各種支援の充実が必要です

第2期 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

KPI	目標値	最新値	達成率（目標値に対する最新値の進捗）
【数値目標】 稲美町の居住性について『住みよい』と回答した方の割合	令和2年度 住民意向調査 25.0%	令和2年度 住民意向調査 28.3%	 100.0%
(1) にぎわいのある交流と観光の推進			
●稲美町ホームページ（トップページ）アクセス数	令和3年度 401,863件以上	令和2年度 256,540件	 63.8%
●『兵庫県観光客動態調査』における稲美町の日帰り観光入込み客数	令和3年度 126千人	令和元年度 124千人	 98.4%
●『観光の振興』について「満足」「やや満足」と回答した方の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 7.5%以上	令和2年度 住民意向調査 9.5%	 100.0%
(2) 安全安心で快適な暮らしの実現			
●『住民が安心できる保健・医療・福祉体制の整備』に対する「満足」「やや満足」の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 50.0%	令和2年度 住民意向調査 27.3%	 54.6%
●『防災対策の充実』に対する「満足」「やや満足」の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 45.0%	令和2年度 住民意向調査 33.2%	 73.8%
●『防犯対策の充実』に対する「満足」「やや満足」と回答した方の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 40.0%	令和2年度 住民意向調査 18.1%	 45.3%
●『快適で安全な交通環境』に対する「満足」「やや満足」の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 30.0%	令和2年度 住民意向調査 15.0%	 50.0%
(3) 地域資源の活用			
●空き家活用件数【累計】	令和3年度 5件	令和2年度 4件	 80.0%
(4) 住民協働によるまちづくりの推進			
●『住民とパートナーシップ』に対する「満足」「やや満足」の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 25.0%	令和2年度 住民意向調査 12.4%	 49.6%
(5) 広域的な連携の推進			
●『広域行政の推進』の設問に対する「満足」「やや満足」の合計の割合	令和2年度 住民意向調査 20.0%	令和2年度 住民意向調査 9.9%	 49.5%

施策別の評価が低いことから、町が実施している施策や取り組みについての広報・周知が必要です

(1) 総合戦略の概要

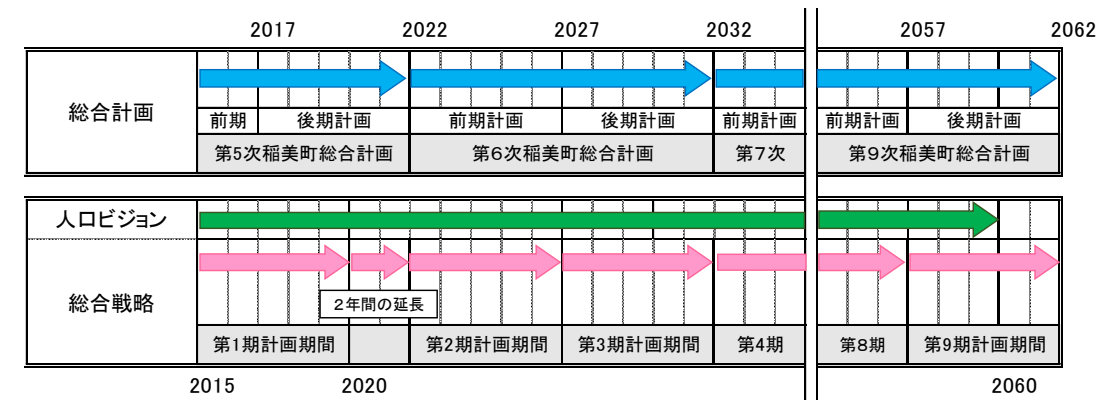
総合戦略は、人口の社会増や自然増対策、地域課題の解決等を目指し、必要な施策・事業の導入を図るものです。

第2期総合戦略では、これまでの総合戦略の取り組みを土台とし、本町を取り巻く社会経済状況の変化や課題を的確に捉え、目標人口を達成するために、各種施策を引き続き展開していきます。

(2) 人口ビジョン及び総合戦略の期間

稲美町の人口ビジョンは、国の長期ビジョンの期間（2060年）を基本に、稲美町の人口動態特性や社人研の人口推計期間を考慮して令和42年（2060年）までを計画期間とします。

総合戦略は、第6次稲美町総合計画と一体的に運用を行うため、令和4年（2022年）度から令和8年（2026年）度までの5年間を計画期間とします。



(3) 第2期総合戦略の考え方

- 1 産業の振興を図り、就業の場を増やすとともに、多様な働き方を支援する。
- 2 移住・定住を促進するとともに、町の魅力を発信する。
- 3 安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備する。
- 4 安全・安心な基盤づくりを進めるとともに、多様な団体との連携・交流を促進する。

(4) 基本戦略

本町は、ため池や田園風景など自然が豊かであるとともに、都市にも近く、快適な住環境が整備されています。

そんな稲美町で、結婚や出産、子育ての希望をかなえることや、雇用への支援に努めるなど、稲美町ならすべてのひとの夢や希望をかなえることができることを表しています。

そうすることで、人口減少の克服と活力ある稲美町の創生を実現します。

～ 夢と希望をかなえる稲美のくらしの創生 ～

第2期 稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標と施策）

国及び兵庫県の第2期総合戦略及び本町の特性を踏まえ、基本目標と施策を下記の通り見直しました。

■稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略【期間延長版】

番号	基本目標	施策
1	稲美町における安定した雇用を創出する	(1) 希望や生きがいをかなえる働き方の創出 (2) 地域特性を活かした農業の振興 (3) 活力のある商工業の振興
2	稲美町への新しいひとの流れをつくる	(1) 移住の推進 (2) ふるさと意識の醸成
3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 安心して結婚ができる社会の実現 (2) 安心して出産・子育てができる社会の実現
4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	(1) にぎわいのある交流と観光の推進 (2) 安全安心で快適な暮らしの実現 (3) 地域資源の活用 (4) 住民協働によるまちづくりの推進 (5) 広域的な連携の推進

■第2期稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略

番号	基本目標	施策
1	安心して働ける稲美町をつくる	(1) 持続可能な農業の振興 (2) 地域に活力を生む商工業の振興 (3) 多様な働き方の創出
2	稲美町へのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる	(1) 移住・定住の促進 (2) 郷土愛の育成 (3) 町の魅力発信
3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 結婚・出産できる環境の充実 (2) 子育て支援の充実 (3) 魅力ある教育環境の充実《新規》
4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な稲美町をつくる	(1) 質の高い暮らしの充実 (2) 安全・安心で暮らしやすいまちの実現 (3) 観光・交流の推進 (4) ともにつくるまちづくりの推進

■変更点■

- ◎国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に合わせた項目の整理を行った
- ◎子育て支援として、教育分野（魅力ある教育環境の充実）の追加を行った

KPI（重要業績評価指標）の設定について

「稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略【期間延長版】」の評価を踏まえ、「第2期稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標及び施策の見直しに合わせ、KPIを設定しました。

■基本目標における数値目標

基本目標	第1期	第2期
1	稲美町に常住する就業者数 15,000人 (令和2年国勢調査)	町の施策「雇用対策・勤労者福祉の向上」の満足度 (住民アンケートより、「満足」及び「やや満足」と回答した人の割合)
2	転入超過者数 300人 (平成29年度～令和3年度までの累計)	稲美町に愛着を感じる人の割合 (住民アンケートより、「強い愛着を感じる」及び「愛着を感じる」と回答した人の割合)
3	子ども女性比 0.22以上 (令和2年国勢調査)	町の施策「子育て支援の推進」の満足度 (住民アンケートより、「満足」及び「やや満足」と回答した人の割合)
4	稲美町の居住性について『住みよい』と回答した方の割合 25.0% (住民アンケート調査結果)	稲美町が住みやすいと感じている人の割合 (住民アンケートより、「住みやすい」及び「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合)

■見直しのポイント■

- ◎基本目標ごとの指標となることから、施策・事業の実施により発生する効果・成果である住民満足度を重視した設定とした

■施策における数値目標

基本目標	第1期	第2期
1	12項目 (町統計：7項目、国・県統計：5項目)	8項目 (町統計：6項目、国統計：2項目)
2	5項目 (町統計：3項目、アンケート：2項目)	6項目 (町統計：6項目)
3	4項目 (町統計：2項目、国統計：1項目、アンケート：1項目)	6項目 (町統計：4項目、国・県統計：2項目)
4	10項目 (町統計：2項目、県統計：1項目、アンケート：7項目)	7項目 (町統計：6項目、県統計：1項目)

■見直しのポイント■

- ◎具体的な施策ごとの指標となることから、事業の実施量をはかる『アウトプット指標』を重視した設定とした
- ◎事業の進捗確認を進めることを踏まえ、なるべく毎年成果を確認できる数値を指標として設定した